

研究業績

活動報告

講師・学会発表

腎臓内科

氏名	年月日	学会発表・講師・雑誌掲載 テーマまたは演題名	学会名・講演会名	場所	発表講師
町田 健治	2015. 1. 26	上天草地区 CKD 連携パスの 治療と現況報告	第3回上天草CKD連携パス運営会議	上天草市	講師

リハビリテーション室

氏名	年月日	学会発表・講師・雑誌掲載 テーマまたは演題名	学会名・講演会名	場所	発表講師
五十嵐稔浩	2014. 4. 19	臨床実習で何を教えるか？	平成26年度 藤華医療技術専門学校教育講演会	大分県	講師
五十嵐稔浩	2014. 6. 7	訪問リハビリテーション管理運営部門 セッション	第4回日本訪問リハビリテーション 学術大会 in 熊本	熊本市	座長
新谷 大輔	2014. 6. 30 ~7. 1	小脳梗塞によりバランス機能障害を呈した症例への リアライン・コアを用いた体幹アプローチの有用性	第49回 日本理学療法学会	神奈川県	発表
橋本 翔	2014. 7. 12	多発性脳梗塞を呈した症例について 一歩行に着目して	第155回 熊本県リハビリテーション 研究会	熊本市	発表
新谷 大輔	2014. 7. 12	小脳梗塞によりバランス機能障害を呈した症例への リアライン・コアを用いた体幹アプローチの有用性	第155回 熊本県リハビリテーション 研究会	熊本市	発表
五十嵐稔浩	2014. 8. 10	熊本県訪問リハビリテーション実務者 研修会	訪問リハビリテーションにおける 参加支援	熊本市	講師
川口 優貴	2014. 9. 13	自動車運転の希望があった注意機能患 者へのOTとしての支援と今後の課題	熊本作業療法県学会	荒尾市	発表
笹原 綾	2014. 9. 13	重症患者の肯定的側面に着目したチームアプロ ーチの実践-トイレでの排泄機会が増えた1症例-	熊本作業療法県学会	荒尾市	発表
民谷 雄太	2014. 10. 18	CCHS 施術後に鼠径部痛を生じた1症例 ~骨頭壊死と運動機能障害の判別方法に着目して~	第30回 日本義肢装具学会学術大会	岡山県	発表
河津江吏子	2014. 11. 23	ストレッチボールのリラクゼーション 効果	九州理学・作業療法士合同学会 2014	佐賀県	発表
平田 千晴	2015. 1. 24	成功体験を通し、生活の再構築及び QOLの向上に向けた取り組み	第1回地域理学療法学会	大阪府	発表
上村 龍輝	2015. 2. 15	当院で開催した介護予防事業の効果	第67回済生会学会	福岡県	発表
財津 岳士	2015. 2. 15	当院廃用症候群患者における栄養と日 常生活能力について	第67回 済生会学会	福岡県	発表
酒井麻奈美	2015. 2. 20	“編み物”をして元気になる！ ~生活行為向上マネジメントを活用して~	熊本県作業療法士会 宇城ブロック 事例報告会	宇城市	発表
橋本 翔	2015. 2. 22	多発性脳梗塞を呈した症例について 一歩行に着目して	第18回 熊本県理学療法士学会	水俣市	発表
民谷 雄太	2015. 2. 22	片側大腿切断者の歩行速度に影響する因子 ~バランス能力と下肢筋力に着目して~	第18回 熊本県理学療法士学会	水俣市	発表
新谷 大輔	2015. 2. 22	ADLセッション	第18回 熊本県理学療法士学会	水俣市	座長
坂本 結	2015. 2. 27	回復期リハビリ病棟での集団リハビリ の取り組み	回復期リハビリテーション病棟協会 研究大会	愛媛県	発表

3. 関係部署のスタッフは1/Wカンファレンス（患者療養支援会議）に参加し、相談内容と対応の状況を確認し協議し、その内容を毎月管理運営会議に報告する。
4. 患者等から相談を受けた場合の対応体制
 - ①患者等から相談を受けた場合、その内容に関連するスタッフと随時相談し対応する。
 - ②各部署で受けた場合、担当者（所属長）に相談し対応する。相談内容や対応の経緯については所定の書式に入力し、カンファレンスの議題とする。
5. 2014年度相談件数 60件

とにより、優秀な職員の離職防止、新規職員の獲得
 ・職員一人ひとりのモチベーションや生産性を高め、患者に提供する医療の質やサービスレベルを向上

【委員会構成】

医師1名、看護師4名、薬剤師1名、診療放射線技師1名、臨床検査技師1名、管理栄養士1名、リハビリテーション室2名、事務4名 計15名

【内 容】

- ・職員満足度調査及び看護部インデックス調査（看護協会）の結果の分析、アクションプランの検討
- ・看護協会主催WLBワークショップへの参加、報告
- ・各アクションプランの実施
 - ・時間外業務削減に向けた終礼の導入（看護部）
 - ・申し送り時間の短縮、病棟間の応援体制、PHS整備による業務効率化（看護部）
 - ・有給休暇取得率UPに向けた取得数の部署内で共有・見える化検討
- ・委員会・プロジェクト書記へのアンケート調査、開催時間の短縮・効率化のための周知活動
- ・休暇諸制度に関する全職員への認知度アンケート調査、周知用リーフレット作成
- ・プロジェクトの取組みを報告するWLB新聞の発行、スタッフ紹介のリレー新聞の発行
- ・職員交流を目的とした、シエスタでのイベント（クリスマス会）開催

図書委員会

【目 的】

図書・図書室の運営状況（図書・図書室の環境・管理・活用）は決して十分ではない為、多職種のスタッフの意見を聞き、図書室の運営（環境、管理・活用、購入・予算の検討等）について検討・協議する。

【委員会構成】

医師1名、看護師1名、リハビリテーション室1名、放射線技師1名、事務員2名

【内 容】

- ・図書環境充実のための検討（図書室の整理整頓、配置換え）
- ・図書の購入・予算についての検討（年間予算の確認、部署ごとの購入実績、全体の購入実績等）
- ・各部署定期購読分の種類の見直し（医局、検査室の種類追加）

クリニカルパス委員会

【目 的】

クリニカルパスの導入および、関連する事項について検討、対策を行うことを目的とする。

（2015年1月より活動開始）

【委員会構成】

医師1名、看護師2名、事務員3名

【内 容】

- ・委員会活動計画の検討
（活動目的の確認、パス稼働へ向けて課題整理、勉強会の計画 等）
- ・システム上のパス機能実操作確認
- ・パス第一号適用実施（大腸ポリペクパス）

働きやすい職場づくりプロジェクト

【目 的】

職員が「働きやすい職場環境」の構築に向けて具体的な取組を検討する。最終的には、以下の点を目的とする。

- ・職員のニーズに合致した魅力的な職場環境を提供するこ

検査室

氏名	年月日	学会発表・講師・雑誌掲載 テーマまたは演題名	学会名・講演会名	場所	発表講師
中島 晴伸	2014. 7. 20	透析患者のエコーを極める VAとDWの評価	JSS九州第19回 地方研修会	小倉	座長
中島 晴伸	2015. 2. 15	急性心疾患における超音波検査 の役割 ~技師の立場から~	JSS九州第20回 地方会学術集会	熊本市	座長

医療相談室

氏名	年月日	学会発表・講師・雑誌掲載 テーマまたは演題名	学会名・講演会名	場所	発表講師
前田 沙希	2015/ 2/27 ~28	キーパーソン不在の生活困窮者の支援を行っ た事例の考察~一人暮らし・就労支援まで~	回復期リハビリテーション病棟協会 第25回研究大会 in 愛媛	愛媛県	発表

論文

リハビリテーション室

氏名	年月日	学会発表・講師・雑誌掲載 テーマまたは演題名	学会名・講演会名	場所	発表講師
山本 祐歌 五十嵐 稔浩 財津 岳士	2015. 2. 28	終末期における作業療法の一事例 (論文投稿)	作業療法研究 くまもと		

